

パネルディスカッション：女性のパワーと社会的インパクト

日独の文化・外交・経済の接点で活躍する女性たち

日時：2026年3月2日（月）
時間：17:00 – 20:30（中央ヨーロッパ時間）
会場：ベルリン日独センター
主催：ベルリン日独センター（JDZB）
協力：DMG 森精機株式会社、日独産業協会（DJW）

プログラム

言語：日本語およびドイツ語（同時通訳付）

17:00 開場

18:00 – 18:05 挨拶
ユリア・ミュンヒ（ベルリン日独センター事務総長）

18:05 – 18:15 基調講演
ドロテー・ベア ドイツ連邦研究・技術・宇宙大臣

18:15 – 19:25 **パネルディスカッション**：
ドロテー・ベア ドイツ連邦研究・技術・宇宙大臣
志野光子 駐ドイツ日本国特命全権大使
イレネ・バーダー DMG 森精機株式会社取締役
樋口=ツィッツマン洋子 ウェストブルック社シニア・アドバイザー
前みち子 デュッセルドルフ・ハインリッヒ・ハイネ大学現代日本研究所名誉教授
アンネ・ポムゼル 日独産業協会（DJW）事務局長
質疑応答

19:25 閉会の挨拶
フェーベ＝ステラー・ホルドグリューン ベルリン日独センター プロジェクト
マネジメント・ディレクター

19:30 懇親会

20:30 終了

登壇者紹介



ドロテー・ベア ドイツ連邦研究・技術・宇宙大臣

2001年からキリスト教社会同盟（CSU）の党執行部メンバーであり、2002年の連邦議会選挙でドイツ連邦議会議員に選出された。CSU 副幹事長や CDU/CSU 連邦議会会派の家族・高齢者・女性・青少年分野の報道官を歴任した後、連邦交通・デジタルインフラ担当政務次官、さらに連邦首相府国务大臣および連邦デジタル化担当大臣を務めた。2021年から2025年までは、CDU/CSU 連邦議会会派の家族および文化分野の副会派代表を務めた。2025年5月より現職。

写真：©Bundesregierung/Steffen Kugler

志野光子 駐ドイツ日本国特命全権大使

1987年外務省入省。ドイツ、ポーランド、イタリアでの在外勤務を経て、日本人女性として初めて駐アイスランド日本国特命全権大使を務めたほか、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部特命全権大使も歴任した。外務省本省においては、アジア太平洋地域の経済関係、人権問題及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を担当する要職を担った。2022年から2024年まで国際連合日本政府常駐代表（特命全権大使）を務め、2024年11月より現職。日独関係の更なる強化に注力している。



写真：©MOFA



イレーネ・バーダー DMG 森精機株式会社取締役

グローバル工作機械メーカーDMG 森精機株式会社取締役。グローバルコーポレートコミュニケーションおよびマーケティング、さらに欧州市場における戦略的販売・市場管理を統括している。

13,500名を超える従業員を擁する同社において、国際競争力のある機械産業の発展に大きく寄与。また、生産性向上、市場に対する深い洞察、そして人間的視点の融合を軸に、製造業が長期的に持続可能であり続けるための基盤づくりに尽力している。

写真：©DMG MORI/Florian Generotzky

**樋口=ツイツマン洋子 ウェストブルック社シニア・
アドバイザー**

ウィル・スミス率いるエンターテインメント企業ウェストブルック社のシニア・アドバイザー。以前は、ミュンヘンに本社を置く世界有数の映画配給・制作会社であるテレプール社のCEOを務めた。国際的な映画業界において、コンスタンティン・フィルム社、スタジオ・ハンブルク・プロダクショングループ、パンタレオン・フィルム社などで企画開発、制作、資金調達、配給、セールスおよび買収の分野に携わり、20年以上にわたるマネジメントおよび組織統括の経験を有する。主なフィルモグラフィーにRTLドイツ放送向けのプレミアムドラマシリーズ『ヘルツォークパーク』や、日本を含む世界各国で劇場公開され成功を収めたスタジオカナル制作映画『5パーセントの軌跡～嘘から始まる素敵な人生～』（原題：Mein Blind Date mit dem Leben）などがある。また、国際的に認められたAI（人工知能）の専門家で、同分野のオピニオンリーダーでもある。



写真：©Sabine Finger



**前みち子 デュッセルドルフ・ハインリッヒ・ハイネ大学
現代日本研究所名誉教授**

文化学・ジェンダー研究者。デュッセルドルフ大学現代日本研究所教授（1993-2016）。同大学副学長（1995-2001）。研究分野は近・現代文学、トランスカルチュラルリティー、女性運動、共同参画社会形成。東京大学、慶應義塾大学、ヴェニス大学、コーネル大学（ニューヨーク）、ウィーン大学などで客員研究者・教授を歴任。ジェンダー研究書シリーズ『ジェンダーと社会』の共編者。ベルリン日独センター評議員。

写真：©Elisabeth Scherer

アンネ・ポムゼル 日独産業協会（DJW）事務局長

日独産業協会（DJW）の戦略策定および運営全般を統括している。日本学および経済学を専門とし、日独関係における長年の経験を活かし、二国間関係の持続的発展に取り組んでいる。人々、企業、機関をつなぎ、信頼に基づくネットワークを強化するとともに、日独間の対話に新たな刺激をもたらすことに焦点を当て活動している。



写真：©DJW